

# 館林城ジオラマ見学会



令和元年10月24日 須永 清（館林文化史談会）

# 館林城ジオラマ制作の思い



館林にはかつて館林城がありましたが、明治7年に焼失し、城の名残りはわずかに本丸や三の丸跡付近に残るばかりです。

そのような館林城の歴史を形あるものとして残すことを目的に、**館林市市制60周年記念事業**として「館林城のジオラマを作ろう」と、市民有志による**館林城ジオラマ制作委員会**を設立し、平成26年11月公開を目指し取り組みました。

館林市民自身が参画して、館林の発展と文化の向上や観光に役立つものを作り上げ、子孫に伝えていくことは極めて有意義なことです。

このため、制作資金も市民および各種団体による募金、協賛金で賄いました。

また、完成した館林城ジオラマは市の公共機関に展示して、歴史研究や観光資源として活用し、地元館林市民には郷土の歴史を学んでいただきながら次の世代にその文化を伝承して行き、また、館林を訪れる多くの方が館林を知るための一助になればと思います。



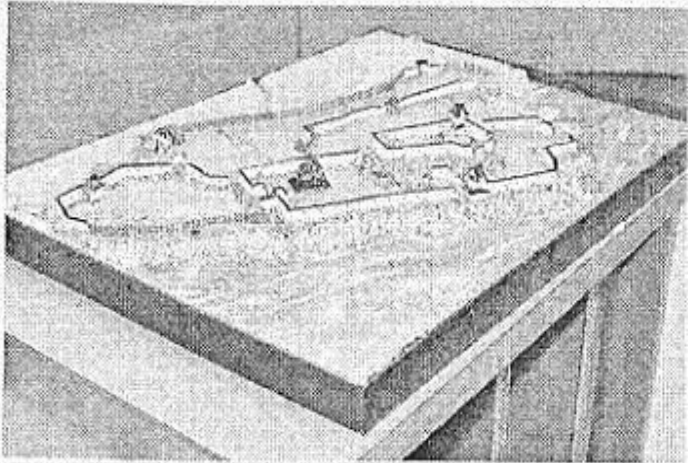
# 館林城の在りし日 模型で復活目指す

## 市民有志、市制60周年記念

城下町だった館林市で、市民有志のグループが館林城の模型製作に動いている。来年の市制60周年を記念して完成させようと、寄付を呼びかけている。

館林には現在、城の面影はほとんどない。「二の丸」付近に市役所が建ち、「三の丸」だった市文化会館付近の土塁などがわずかに往時をしのばせる。

一方で、郷土史に関心がある人や観光関係者には、魅力的な素材に映る。歴代城主に「徳川四天王」の一人の榊原康政や江戸幕府5



館林文化史談会の代表でもある小堀直人事務局長が独自に製作した館林城の模型。江戸後期の絵図を参考にしたという

代将軍の徳川綱吉らが名を連ね、「街全体を土塁で囲っているのは全国的にも珍しい」（市史編さんセンター）という特徴もある。

9月、郷土史家らの「館林文化史談会」や地元経済人を中心に「館林城ジオラマ製作委員会」（小暮高史会長）が発足。2畳ほどの城の模型を来年秋までに作ることを決めた。約400万円を見込む製作費は寄付金でまかなう目算だ。

11月15日の製作委の役員会は、どの時代の城を作るかで白熱。観光に生かすには綱吉の知名度を活用すべきだとし、綱吉や榊原の時代の「前期館林城」の再現を求める声があった一方、明治維新まで藩主だった秋元氏時代など「後期館林城」の方が史料が豊富で史実に沿った城になるという声も。最終的に後期をモデルにすることにした。

また、城主が住んだ城中心部と侍の屋敷を含む城内を模型で立体化し、町民が住んだ城下は平面図で表現することに。綱吉時代の城の情報も平面図や文章などで紹介する方針も決めた。

制作過程での検討で少し変わりました。

# 館林城ジオラマ制作委員会の活動

## ①役割

- ・ 募金、協賛金により制作資金を捻出
- ・ 館林城ジオラマの制作仕様を決定
- ・ ジオラマ制作業者の選定と制作調整（依頼、指示など）
- ・ 館林市との各種調整

## ②委員会

- ・ ほぼ毎月1回実施（2013年9月13日～2014年10月28日の13回）
- ・ 上記役割を中心に、発生した課題を議論

## ③ジオラマ制作

- ・ 設計 : 館林城ジオラマ制作委員会
- ・ 作成 : 株式会社ディディエフ

# ジオラマの制作について

## 館林城ジオラマ制作の過程

### ① どの館林城を作るか？

	綱吉	v s .	再建館林城（越智松平以降）
史料	城絵図		城絵図（平面情報）、絵馬（立体情報）、 文献資料（館林実記など）
特徴	三重櫓（天守）		城址、城下町に残る城の名残り

史料の豊富さと現在の館林の地形との共通点が多いという点を考慮し、再建館林城を再現することに決定。

**ジオラマを見る → 館林城を思い浮かべながら城址を歩ける！**

※館林実記：享保13年（1728）越智松平家の棚倉移封の時点の館林城の詳細な情報がわかる。（堀、土塁、門、塀、建物など）

## ②設計

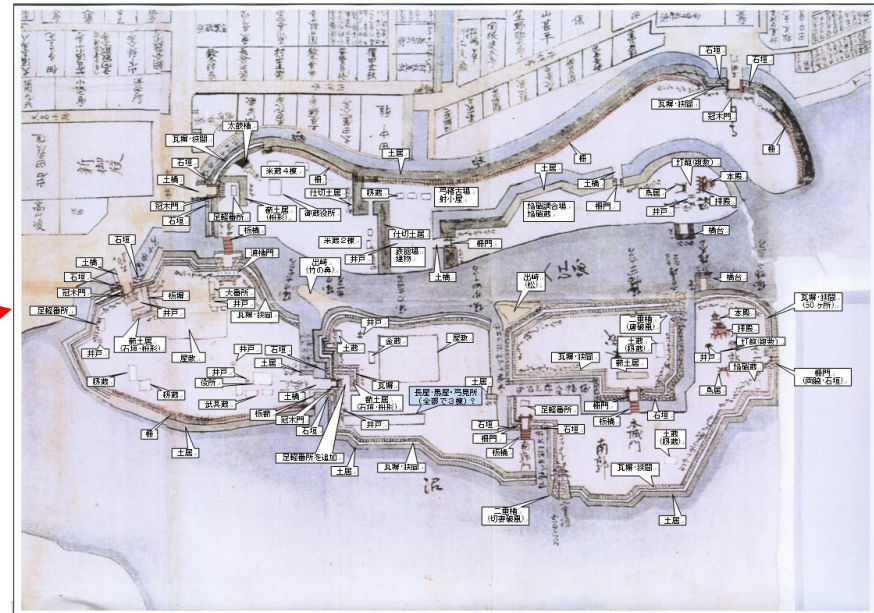
a. 基本とするのは館林城の古絵図

『館林市史特別編第2巻 絵図と地図に見る館林』掲載

b. 「尾曳稻荷神社絵馬」や『館林実記』、『館林城調査報告書 第1集 城郭図とその変遷』を参考に、“建物”の配置図を作成



『館林城絵図（秋元氏時代）』館林市立資料館蔵  
※上記aの市史特別編より転載



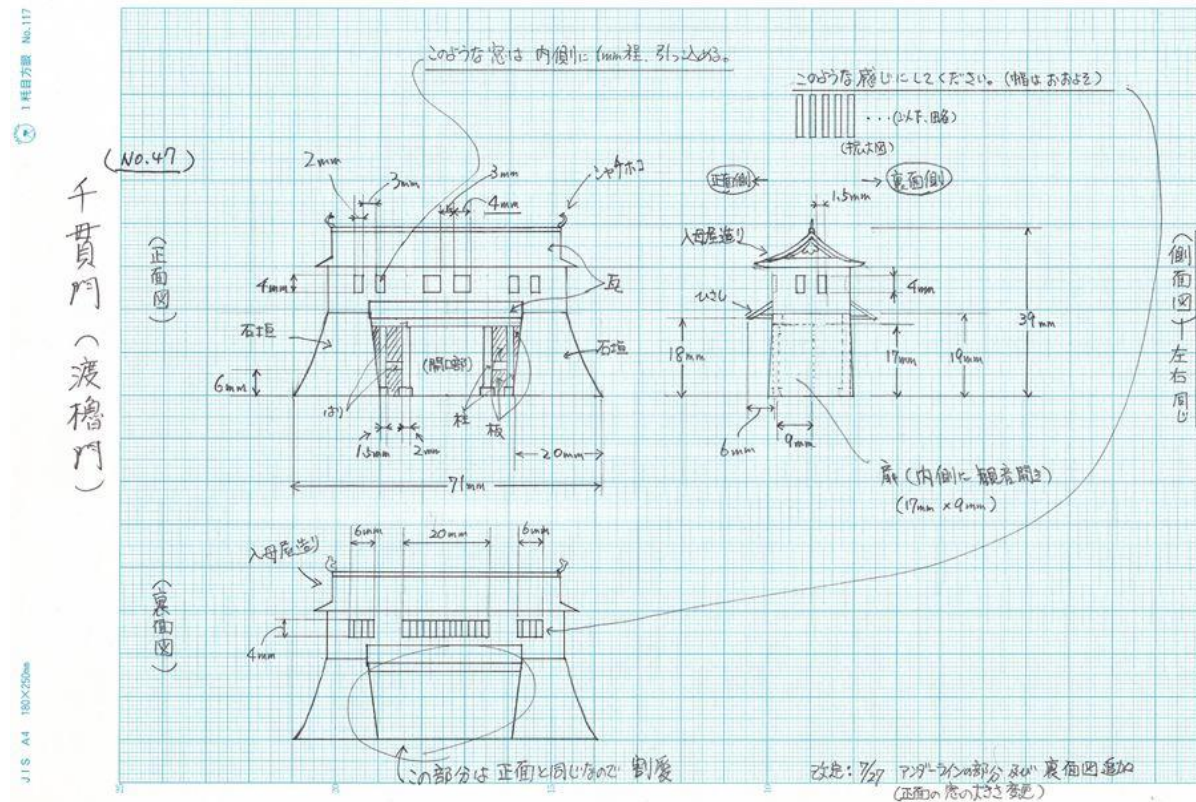
建造物103、土塁・石垣26、塀・柵14の配置を決定

※二の丸、三の丸は『尾曳之跡』所収の間取り図を参照。ほとんどが平面情報のみ。

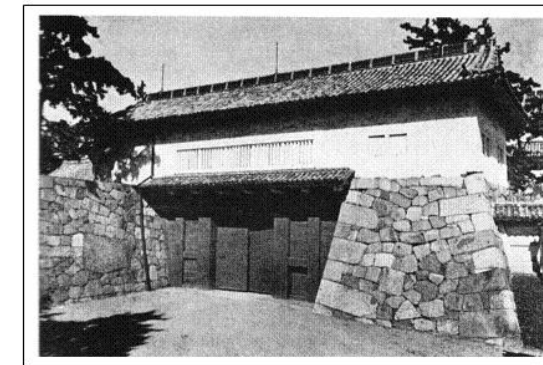


## c. 建造物の立体的設計

『城の作り方図典』（三浦正幸著）や明治初期に撮影された江戸時代の城郭写真、現代に残る城郭・遺蹟を基に基本設計を行った。制作者には写真からも細部のイメージを感じ取っていただく。



千貫門（渡櫓門）の手書き設計資料

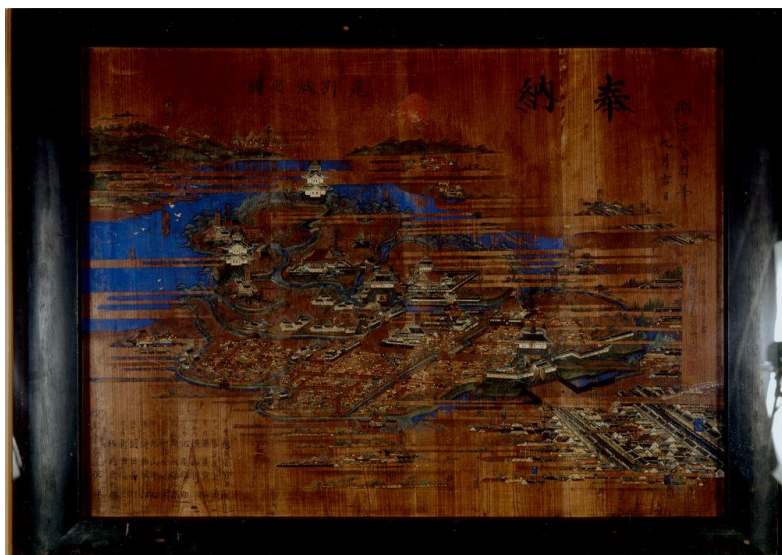


渡櫓門の参考写真

『幕末日本の城』（山川出版）より  
名古屋城の城門

#### d. 色の決定

瓦（黒）、壁（白）、木造建造物（茶系統）がほとんどを占め、課題は大きなスペースを取る城沼の色であった。



『尾曳稻荷神社絵馬』は濃いブルー



『館林城絵図』は  
薄いブルー



実際の城沼の水の色（2019.9.7）



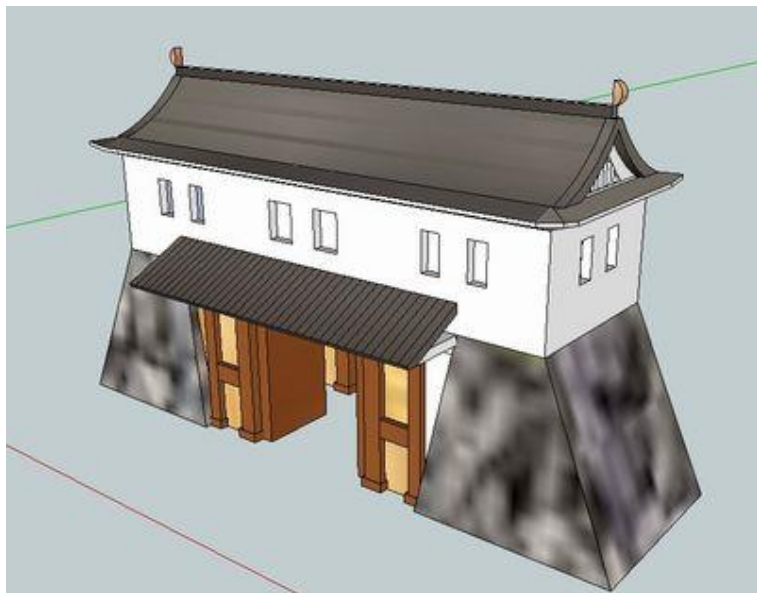
ジオラマで採用した城沼の色  
（濃い緑の上に透明樹脂で水面の  
透明感を表す）  
シチュエーションの設定  
初夏の城沼



### ③ジオラマの制作

東京ホビーショーなどを見学し、株式会社ディディエフ（東京）に制作を依頼することに決定。

制作方法は、cの設計図を基にCADで立体設計→3Dプリンタで原型作成→手作業で細部を作り込む→彩色→完成！！



千貫門の3Dデザイン



3Dプリンタで出力  
(屋根、鯨は別に作成)



付属物を取り付け、色を塗って完成

## ④贈呈式



読売新聞

2014年11月17日

2014年11月16日に市役所市民ホールで実施。同所で展示の後、第一資料館にて常設展示

# 館林城ジオラマ壮観



完成した館林城のジオラマ（館林市城町の市役所で）

## 市制60年で市民制作

地元の名城を後世に伝えようと、館林市の市民有志が制作していた「館林城」のジオラマ（模型）が完成し、16日、館林市城町の市役所で完成披露式典が開かれた。

縦1・4メートル、横約2メートルの二重やぐらを復元。その外側は、秋元家が城主だった江戸時代末期頃の城を400分の1の大きさで再現した。本丸を囲むように二の丸、南郭、八幡郭で構成し、本丸と南郭には

## 情報求め各地へ奔走

イドも備え付けられた。

市制60周年の記念事業でもある制作が動き出したのは昨年9月。郷土史愛好家をつくる「館林文化史談会」を中心に「ジオラマ制作委員会」（小暮高史会長）を結成。茨城県古河市や埼玉県川越市の歴史博物館を巡り、費用や制作方法の情報を集めた。県内外から126法人、個人311人から9月までに約395万円の募金を集めて費用に充てた。

ジオラマ制作は副会長の須永清さん（58）を中心に取り組んだ。市教委の資料や尾曳稲荷神社所蔵の館林城絵馬などを参考に、やぐらなど60以上の建物の設計図一つ一つを手書きで作成。市内のジオラマ制作会社に送られ、3Dプリンターなどで作られた。

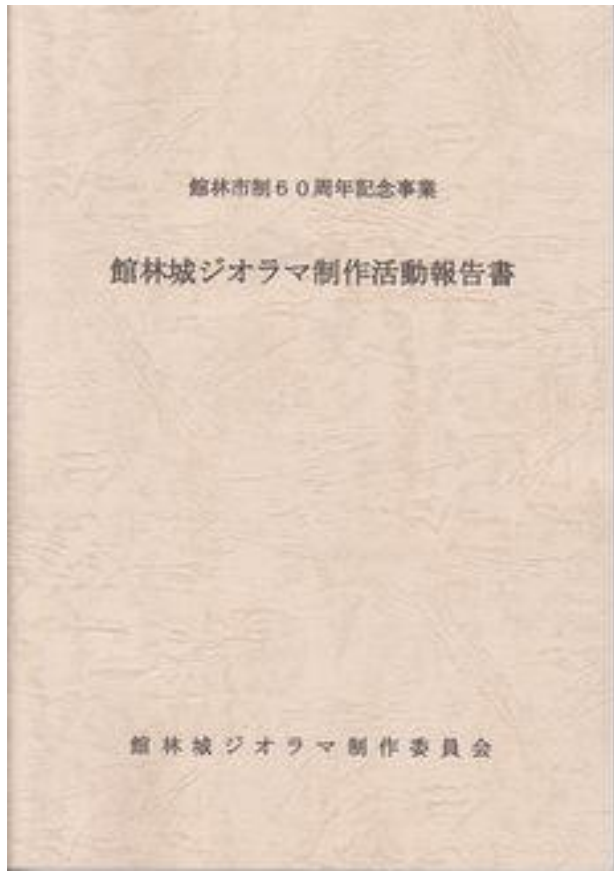
10月からは毎週のように制作会社に足を運び、細部までこだわった。須永さんは「無事に完成してほっとした。当時と今の街並みを比べながら、館林の歴史に興味を持つきっかけにしてほしい」と話した。

ジオラマは来年3月末まで市役所市民ホールに展示され、その後、市資料館に展示される予定。



## ⑤報告書

ジオラマ制作にかかわる全情報を報告書としてまとめ、後世に残す。



※館林市立図書館に献本。  
一般の方の閲覧が可能です。

※館林城ジオラマ制作委員会の詳しい情報は、右に掲載した館林文化史談会ホームページの「会員情報など」のページからの[リンク](#)をご利用ください。  
史談会ホームページは「館林文化史談会」で検索してください。

ここをクリック

The screenshot shows the homepage of the Guneriyo Cultural History Association. At the top, there is a navigation menu with the following items: 'ホーム' (Home), '史談会紹介' (Introduction to the Association), '活動報告' (Activity Report), '野外研修報告' (Field Study Report), '会員の活動' (Member Activities), 'トピックス' (Topics), and '会員募集など' (Member Recruitment, etc.). A red arrow points to the '会員募集など' link. Below the menu is a photograph of the Guneriyo Castle Main Gate (館林城主櫓門). Underneath the photo, there is a heading '館林文化史談会ホームページへようこそ！' (Welcome to the Guneriyo Cultural History Association Homepage!) and a short introductory text about the association and the local area.

館林文化史談会

ホーム 史談会紹介 活動報告 野外研修報告 会員の活動 トピックス [会員募集など](#)

館林文化史談会ホームページへようこそ！

ご挨拶  
群馬県の「東毛」と呼ばれる南東部に位置する館林市は、水と緑にあふれる自然環境の恵まれた土地です。また、近世においては館林城を中心にこの地方の中心地として栄えました。  
このような環境の中で、古代より現在に至るまで連続と続く豊かな歴史を共に学び、次の世代に伝えていきたいと活動しています。



## ⑥その他

- ・ 展示ケースの決定 → 見やすく、撮影しやすいカバーなしとする。
- ・ 音声ガイドの作成（館林城とジオラマの紹介の2種類作成）
- ・ パンフレット、絵葉書の作成
- ・ 募金、協賛いただいた方への報告書作成と発送
- ・ 募金、協賛いただいた方のネームプレート作成  
（ジオラマの展示ケース側面に貼付）

では、第一資料館に移動して  
館林城ジオラマを見てみましょう！

- ・ 今の地形との比較
- ・ 館林城の建造物群